

10.九州(地域別調査機関:(財)九州経済調査協会)

(-:回答が存在しない、 :主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	一般小売店〔生花〕(経営者)	販売量の動き	・卒業や退職、退任等があり、良く売れているが、その分仕入価格が高騰しており、純利益が減少している。例年以上に仕入価格が高くなっている。
		競輪場(職員)	販売量の動き	・発売額の増加が前年に比べ著しい。
	やや良く なっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・天候が良くなり、客の動きも良くなっており、来街者数が少しずつ増えている。
		百貨店(営業担当)	お客様の様子	・引き続き、単価が高いものの動きが良い。
		百貨店(営業担当)	来客数の動き	・商店街のイベントもあり、来客数が増加した。
		百貨店(売場担当)	販売量の動き	・来客数は前年比99%で売上もほぼ前年並みで順調に推移している。ただ周りの大型商業施設も前年の売上を上回って推移しており、当店だけが良いというわけではない。婦人用品はほぼ前年並み、紳士は若干不調、家庭用品は低調に推移している。
		スーパー(経営者)	販売量の動き	・先月は暖かかったが今月に入って冷え込み、季節商品やこの時期に売れるべきものの動きが悪かった。
		スーパー(店長)	来客数の動き	・全社上げてのイベントの効果もあり、来客数が前年比10%ほど上昇し、それに伴って売上も好調に推移している。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・後半に紳士、婦人服、雑貨を除く衣料品がかなり良くなった。食品も単価が上がり、かなりの勢いがある。来客数、販売量共に増加した。
		スーパー(企画担当)	来客数の動き	・昨年後半にオープンした大型ショッピングセンターや総合スーパー等、競合店の影響が依然大きく、苦戦している。一方、他の競合店閉鎖に伴ない、一部の店舗で来客数の増加があり、若干ではあるが回復傾向にある。
		家電量販店(総務担当)	来客数の動き	・ほとんどが目的買いの客だが、価格より機能・使い勝手を重視する客が増えてきた。
		乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・3月決算があるにもかかわらず、契約台数が思ったほど伸びなかった。
		その他専門店〔コーヒー豆〕(経営者)	お客様の様子	・新しい年度を迎えるに当たって、退職した団塊の世代の方が新しく店を出店するという新しい動きが少しずつ波及しており、そこで出されるコーヒーの増加に伴い、多少売上の増加も見込める。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・団体客が多く、日によってばらつきはあるものの、総じて来客数は増えている。
		タクシー運転手	単価の動き	・人の流れ、客の動きはあまり変わらないが、若干客単価が上昇傾向にあり、その分だけ景気が良くなった。
		通信会社(業務担当)	販売量の動き	・携帯電話の販売は、年間で3月が一番市場が動く時期であり、キャリア間の競争激化に加え、大手量販店の影響も多少はあったが、販売台数は順調に推移している。
		テーマパーク(職員)	来客数の動き	・3月に大型団体が2件あり、来客数、売上共に前年比で増加した。ゴルフも継続して好調である。また貸切営業となっていた商業施設の一般営業も再スタートし、徐々に利用が増えている。
		ゴルフ場(従業員)	来客数の動き	・週末土日の入場者数が昨年より増えている。利用料金が高い土日でも増加していることから、景気は良くなっている。
		住宅販売会社(従業員)	単価の動き	・展示場の来客数が増え、電話、メールでの問い合わせも増えている。土地、住宅取得の問い合わせが多くなっている。
変わらない	商店街(代表者)	来客数の動き	・商店街の近くに確定申告の会場があり、そのおかげで通り道の商店街はかなりにぎわっていた。しかし人通りはあるものの、来客数はあまり変わらず、売上にはつながっていない。	
	商店街(代表者)	来客数の動き	・商店街で春のセールをしたが、昨年に比べ来街者数が減少した。	

一般小売店〔青果〕(店長)	それ以外	・青果業の中心になる大型野菜、白菜、大根、にんじんが3か月前と比べて相場が上がらない。前年度の半値で推移しており、売上も単価も上がらず苦しい状況である。
一般小売店〔茶〕(販売・事務)	来客数の動き	・例年に比べ暖かい日が続き、週末は人通りも少なく売上につながらない。その為、チラシで新商品の宣伝をした結果、多少来客数が増加した。
百貨店(営業担当)	お客様の様子	・婦人フロアで新ブランドの導入、売場移設等のリニューアルを行ったため、婦人服は好調に推移した。また、紳士雑貨、催事も好調であった。しかし購買する客と購入に慎重な姿勢を見せる客がより一層鮮明になった。
百貨店(販売促進担当)	お客様の様子	・暖冬から一転した3月前半の冷え込みが春物のピーク時期と重なり大打撃となった。競合店の閉店セールも大いに影響があった。
百貨店(営業企画担当)	販売量の動き	・先月の気温から反転し、寒の戻りがあったため衣料品を中心に苦戦が続いた。小学校の新入学などの需要も、カジュアル化、汎用性のある商品は健闘したものの、スーツやワンピースは低迷し、昨年実績を大きく下回った。
スーパー(店長)	単価の動き	・野菜の価格が非常に下がり、客単価の低下が見られる。一方で来客数は伸びている。
スーパー(店長)	来客数の動き	・販促手法を変えて日曜日のチラシを減らした分、来客数が減少し、売上も厳しい。衣料品が前年比93%、鮮魚の売上が前年比89%くらいで推移しており、魚離れが進んでいる。
スーパー(店長)	来客数の動き	・食品は前年比104%と引き続き好調である。要因の1つとしては、1人当たりの買上点数が前年比10%ほど伸びている。ただ、衣料品に関しては来客数、売上共に前年比90%台と非常に苦戦している。
スーパー(総務担当)	単価の動き	・寒の戻りで春物衣料を中心に低調に推移し、客の出足も鈍った。
スーパー(経理担当)	販売量の動き	・来客数は前年並みだが、販売量の前年割れが続いており、客単価、一品単価の下落が続いている。
コンビニ(エリア担当・店長)	来客数の動き	・寒の戻りがあり、昼のピーク時の来客数が少ない。
コンビニ(エリア担当・店長)	お客様の様子	・取扱商品の問題もあるが、来客数、客単価共に低調に推移している。
家電量販店(店員)	販売量の動き	・予想を上回るデジタル商品の単価の下落で販売量が同じであっても、販売額が上昇しない。一人暮らし用の家電も家電付きマンションの増加等で売上が減少している。
家電量販店(企画担当)	来客数の動き	・よその店舗を回り、値段を見比べる客が多く、購買に慎重になっている。
乗用車販売店(販売担当)	販売量の動き	・年間で最大の需要期であり、一番販売量が出る時期であるが、前年と比べ販売量はかなり落ちている。
乗用車販売店(管理担当)	単価の動き	・整備、中古車に関する受注が多く、新車購入の客は最大需要期にもかかわらず少ない。イベントを実施すると来場者数は増えるが、なかなか購入まで至らず、前年割れである。
住関連専門店(経営者)	来客数の動き	・新入学学童機の販売が終盤になってきたが、年々客単価が下がっており、来客数も減少している。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕(統括)	販売量の動き	・燃料油は、仕入価格が少し上昇したため値上げとなったが、客に節約する様子はなく、必要な量は購入している。販売量の大幅な増減はない。
高級レストラン(経営者)	来客数の動き	・送別会が思ったほど入らなかったが、個人客が多く、売上は下がらずに済んだ。
その他飲食〔居酒屋〕(店長)	来客数の動き	・県外客の動きが少し出ている。
観光型ホテル(営業担当)	来客数の動き	・前年に比べ地元宴会は横ばいであったが、宿泊と婚礼で前年比22%の減少となる。また、予約や当日フリー客の動きも減少した。
タクシー運転手	来客数の動き	・急に寒くなったせいか客の乗り込み、昼間の動きが良くなっている。夜は日によって変わる。
通信会社(総務担当)	販売量の動き	・キャンペーンの成果が出ており、売上が伸びている。
美容室(店長)	来客数の動き	・転勤時期に当たり、来客数が減少した。

	設計事務所（所長）	販売量の動き	・年度末の官公庁の発注を期待していたが、非常に少なかった。民間の冷え切った住宅の着工件数が回復しないままである。
	設計事務所（代表取締役）	お客様の様子	・公共事業については市町村の建設予算の削減で発注量が少なくなっており、この傾向は変わっていない。受注する側も入札時にダンピングを行っており、受注単価も減少している。民間事業もマンションなどの特定な建築に需要が見込める程度である。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・寒の戻りで春物衣料の動きが鈍く、販売高が伸び悩んだ。
	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	来客数の動き	・単価は下がっているが、購買につながらない。一品単価が下がり、売上は減少している。
	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・気温の影響もあり、来客数が大幅に減っている。トレンドも明確な物がなく、唯ードレス、コートが好調だが、全体を引き上げるまでの影響力がない。
	百貨店（営業担当）	競争相手の様子	・小売、特にファッション分野が低調に推移している。また、競合他店で催事があり、厳しい状況であった。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・婦人衣料等、服飾雑貨を中心に売上不振が続いている。また輸入特選ブランドの売上も下降傾向にあり、特に高額品・専門品の消費が厳しい。
	百貨店（営業担当）	それ以外	・周辺商店街の空き店舗がさらに増える傾向にある。
	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・来客数が前年より大幅に落ち込んでいる。買上率も低下している。
	百貨店（業務担当）	販売量の動き	・寒の戻りがあり、衣料品の売上が大きく減少した。それに伴い、雑貨の動きも鈍化した。
	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・例年、購買意欲を増す時期で売上が大きく増加するが、今年は暖冬であったにもかかわらず、寒の戻りで気温が低いため、ソフトドリンクを中心に飲料の売上が大幅に減少した。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・売上、来客数共に減少した。前年に比べて観光客も減っており、厳しい。
	コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・量販店の売上は前年比1.8%減、コンビニエンスストアは同0.4%減、ローカルスーパーは同3.8%増となった。量販店では特に主婦の財布のひもが固くなっていた。
	衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・相変わらず売上ゼロの日もあるが、売上のある日もあり、例年になく暖かさが客の購買意欲をかき立てているとも感じられる。
	衣料品専門店（店員）	販売量の動き	・冬物のセールも終わり、春の立ち上がりの衣料は気温が低かったため、動きが鈍かった。
	衣料品専門店（店員）	販売量の動き	・中旬から寒さが戻り、春物衣料の動きが止まった。来客数、買上点数共に減少している。
衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・ヤング衣料品は雑貨品を中心に売上も前年比を上回り好調である。ミセス婦人服は来客数の減少が続いており、売上も前年割れである。単価も同様に下がっている。特に高級品の売上減が響いており、宝飾品、着物の売上が大幅に減少している。	
高級レストラン（経営者）	競争相手の様子	・例年、歓送迎会で団体客が多いが、今年は平日に休業している店も目に付いた。	
都市型ホテル（総支配人）	競争相手の様子	・新規出店のホテルの影響で厳しい状況であった。また、新空港開港イベントがあった前年の反動で稼働率は減少している。	
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・春休みの旅行は、前年ほどの勢いが無い。グアムや直行便廃止のオーストラリア、国内では関東、関西方面のテーマパークや沖縄などのリゾートが悪い。	
タクシー運転手	お客様の様子	・昼間の動きは良いが、夜の歓楽街の動きが鈍い。歓送迎会に関しても良い動きがなく、閉店している店もよく目に付く。	
タクシー運転手	お客様の様子	・昼はほとんど動きがなく、月末にかけて夜に忙しくはなってきたが、全体では思わしくなかった。	
悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・今の時期になると人の出入りが多くなるが、今年は3月上旬頃に一気に暖かくなり、その時は多少売れた。しかしその後は、冬の処分品も春物も売れないという非常に厳しい状況である。
	衣料品専門店	販売量の動き	・春物が全部そろったところでまた寒の戻りがあり、春物の動きが鈍くなった。

企業 動向 関連	良く なっている				
	やや良く なっている	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・鳥インフルエンザ騒動も落ち着き入学・卒業式等の行事でスーパー関係、居酒屋関連とも少しずつ動きが出始めている。ただ3月に関してはまだ前年比80%ぐらいの動きである。	
		家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・官公庁が年度末ということもあり、受注量、受注額共に平均指数で150%程度となっている。	
		窯業・土石製品製造業（取締役）	取引先の様子	・3か月前まで落ち込んでいたが、若干上向きになっている。取引先の様子をみても、決算内容が良く、中小企業も若干良くなっている。	
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・電子部品関連は今年に入ってから全般的にやや低調気味であったが、今は順調に推移している。ただし大手企業は非常に良いが、中堅企業の動きはやや鈍い。当社は大手の勝ち組から仕事を多く確保している。	
		その他サービス [物品リース]（従業員）	受注量や販売量の動き	・引き合い案件の増加とともに契約も大型化及び大幅な伸びを示し、年度内の月別契約の最高を記録することができた。	
	変わらない		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・焼き物が一番荷動きする月であるが、専門店、百貨店、量販店の売上が前年並みか若干悪くなっている。流通を簡素化し努力しているところは良いが、その他の業態は良くない。
			一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が減少している。例年は年度末の駆け込み注文があるが今年はそれがなくなっている。
			精密機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・受注が若干減っている。
			経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・酒類在庫がダブつき始めており、商品の動きが悪い。売上は前年比10%の減少である。
やや悪く なっている		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・一部の商品群が、極端な販売減となっている。全体では3か月前に比べると、やや悪い。	
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・全体的に悪かったが、特に衣料品の出荷が少なかった。	
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・貸出金が3か月連続で前年割れとなった。	
悪く なっている	建設業（総務担当）	取引先の様子	・当社で完成させたマンションが35棟中15棟しか販売できず、販売会社が次の計画の用地を他社にまわし、次の工事が中止になった。		
雇用 関連	良く なっている	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・企業の正社員採用が増えてきた。	
		民間職業紹介機関（支店長）	雇用形態の様子	・多くの派遣先で派遣社員の社員化、直接雇用が増大している。法令順守に加え、優秀な派遣社員を直接雇用するケースが目立ってきた。加えて、紹介予定派遣の増大も依然衰えない。	
	やや良く なっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・雇用保険の受給者実人員はこれまで前年比2%程度の減少幅で推移していたが、1月は同9%減、2月は同12%減と減少幅が大きくなっている。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・産業間でばらつきはあるものの、好調な産業の雇用意欲が高く、求人数も増加傾向にある。	
	変わらない	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・年度末で派遣オーダーは3か月前に比べ30%ほど増加しているが、昨年には及ばない。	
		人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・求職者の登録受付は前年比130%の状態が1月から3月まで続いており、応えるだけの求人がない。	
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・3月は派遣の需要期であるが、事務系は例年に比べ需要が伸びていない。しかしながら、販売系についてはオーダーが増えた。	
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・年度末に向けて、3か月前に比べると当然求人数は飛躍的に増えているが、例年と比べるとさほど大きな変化はない。	
		職業安定所（職員）	それ以外	・県下の求人倍率は1倍台を超えており調子が良く、27か月連続で前年を超えている。一方で、全国平均を32か月間超えられないという状況もある。伸びてはいるが、伸び方は全国に比べ低い。	
		学校 [大学]（就職担当者）	採用者数の動き	・企業等の求人活動、採用予定者数をみると、かなり活発であり、3か月前と比べても依然として高い水準にある。	
やや悪く なっている	新聞社 [求人広告]（担当者）	雇用形態の様子	・新聞広告の求人をみると、派遣会社からの求人が増えている。		

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人倍率は上昇しているものの、求人が増えたためではなく、新規求職者の減少によるものであり、求人数自体は減少している。
	民間職業紹介機関（社員）	求人数の動き	・季節需要が思ったほど伸びない。生・損保の不払い問題で大量の人材需要があったものの、景気が上向いたことによる人手不足を派遣で解消しようという動きがあり、昨年ほど案件が出てこない。
悪くなっている	-	-	-